

【Anatyr the Chieftain】

説明

解説

神殿

嵐の神殿。小神。

概略

氏族の指導者としての神。

オーランスが光持ち帰りし者たちの探索に出るにあたって、エルマルが族長として選ばれて留守を任されることになった。エルマルもよく族長としての職務を果たしたが、後になって息子アナターに族長のトルクを譲り渡した。こうしてオーランスが留守の間は、エルマルとその息子アナターが族長として民をまとめた。

今もエルマルが族長であった時代を称えるわずかな氏族の族長は“指導者”ダールではなく、“族長”アナターを信仰している。

組織

相、カルト

エルマルの下位カルト。

近親

両親

父親はエルマル。

参考文献

- ・『Strom Tribe』 p.52